

第1回人間科学フロンティア公開講座

最新データからみる 階層と社会意識

—共生社会の実現に向けて

2018.

9.17 (月祝) 14:00-17:00

入場無料／申込不要

大阪大学中之島センター702教室

概要

SSPプロジェクトでは、人々のくらしぶりがもの見方や考え方をどのように形づくっているのかを調査してきました。これまでの研究結果からは、人々の階層が様々な社会意識と関連していることが明らかにされました。本セミナーではそのようなSSPプロジェクトの研究成果を紹介します。

前半部分では、最新のデータを用いて現代日本社会の姿を明らかにした研究成果を報告します。多様な観点から階層と社会意識の関連を分析します。

後半部分では、共生社会の実現に向けた討論を行います。階層によって考え方が異なる今の日本社会でいかに共生社会を築いていくのか、討論者を迎え活発な議論を行います。

プログラム

14:00 開会挨拶

14:05 報告

小林大祐 (金沢大学准教授)

「SSP2015の調査モード、CAPIについて」

金澤悠介 (立命館大学准教授)

「若者にとっての中流、中高年にとっての中流
：世代で異なる日本社会イメージ」

三谷はるよ (龍谷大学専任講師)

「市民参加の活発化のカギとは？」

石田淳 (関西学院大学教授)

「社会階層の脆弱性を分析する」

狭間諒多朗 (大阪大学特任研究員)

「コンサマトリーで読み解く現代の若者」

15:45 休憩

15:55 討論

討論者／渥美公秀 (大阪大学教授) 稲場圭信 (大阪大学教授)

16:55 閉会挨拶